

2022年10月7日
一般社団法人日本能率協会
産業振興センター

【報道資料】

【開催告知&取材のお願い】

3展合同で過去最大規模※の開催

100社以上の最新製品・サービスが揃う業界専門展示会

『NEXT 150 北海道プロジェクト』

アクセスサッポロにて10月19日(水)から2日間開催

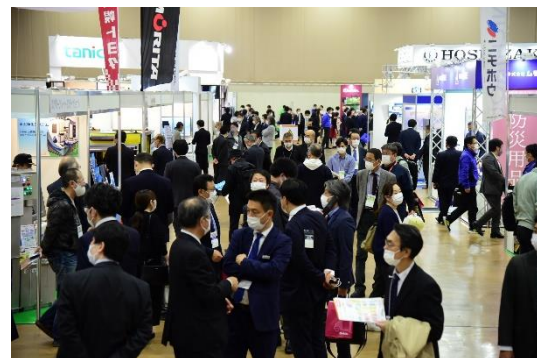
一般社団法人日本能率協会(JMA、会長:中村正己)は、2022年10月19日(水)、20日(木)の2日間、アクセスサッポロ(札幌市白石区)で、「NEXT150 北海道プロジェクト」と題し展示会を開催します。本プロジェクトは2018年にスタートし今年で5回目となる「観光・ホテル・外食産業展 HOKKAIDO 2022」、3回目となる「北海道 都市開発・建設総合展 2022」と「災害リスク対策推進展 北海道 2022」の3つの展示会で構成されます。

会場内では無料でご参加いただけるセミナーをご用意しております。交通インフラ企業であるJR北海道と北海道エアポートをお招きし、北海道観光業界の未来を語るセミナーをはじめ、北海道の観光・都市開発・防災、減災にまつわるセミナーを2日間で計16本開催いたします。

また、対面での商談や意見交換の有効性をふまえ、本展示会では日本展示会協会「展示会業界におけるCOVID-19 感染拡大予防ガイドライン」および国際見本市連盟(UFI:The Global Association of the Exhibition industry)「国際見本市連盟の指針」に基づき、参加者全員の所管官庁、自治体、展示会場など、関係各所と緊密な連携を取りながら開催して参ります。

現在、公式ホームページ(「NEXT150 北海道」で検索、または下記WEBサイト)にて来場事前登録を受付中です。<https://www.ult-thunder.jp/hokkaido-2022/visitor/fill>

※2020年から災害リスク対策推進展、都市開発・建設総合展、観光・ホテル・外食産業展の3展のラインナップで開催しており、今年は2020年、2021年を上回る出展ブース数(合計158小間)を予定しております。



前回実施の様子

■開催概要

展示会名: NEX150 北海道プロジェクト
「観光・ホテル・外食産業展 HOKKAIDO 2022」/「北海道 都市開発・建設総合展 2022」/
「災害リスク対策推進展 北海道 2022」
開催期間: 2022年10月19日(水)・20日(木)9:30~16:00
会場: アクセスサッポロ(札幌市白石区)
主催: 一般社団法人日本能率協会
出展規模: 110社/158ブース
入場者数: 6,000名(3展合計、予定)



■注目コンテンツ①

「北海道観光戦略の未来～陸と空を結ぶ2社の挑戦～」

※敬称略

- 日時: 2022年10月19日(水)10:00~11:00
- 会場: 会場内「主催者セミナー」ステージ
- 定員: 100名(無料・要聴講事前登録)
- 講師: 北海道旅客鉄道株式会社 営業部 課長
上島 慎也 (写真左)
北海道エアポート株式会社 観光開発部 観光開発課 課長
森 裕一 (写真右)



○講演概要

「With コロナ」行動変容を踏まえた非対面・非接触サービス強化、新たな旅のスタイル促進についてお話しします。

北海道の交通インフラを担う2社の、今後の戦略や新たな取り組みをぜひ会場でご聴講ください。

■注目コンテンツ②

「日本海溝・千島海溝沿い巨大地震への備え」

※敬称略

- 日時: 2022年10月20日(木)14:30~15:30
- 会場: 会場内「主催者セミナー」ステージ
- 定員: 100名(無料・要聴講事前登録)
- 講師: 公益社団法人日本技術士会北海道本部
防災委員会 委員長
城戸 寛



○講演概要

レジリエントな社会に向けた、防災委員会による活動を紹介します。
求められる防災、減災、そして縮災対策について、エンジニア視点での情報発信をいただきます。
こちらもぜひ会場でご聴講ください。

※講師への取材については、事前確認が必要となります。

■注目出展企業

テーマ:「観光サービス」



環境や志向の変化が訪れる中で 今後の厨房の在り方を提案。

タニコー(ブース:K-39)では、時代の変化に対応する様々な機器を展示いたします。地元人気シェフの調理を交え、製品の性能を見て実感できる実演コーナーや、オフィスで社員が集える場の提案としてオフィスカフェを展示いたします。また、修理のサブスクやお店づくりのお悩みを解決する商品をご紹介します。ご来場お待ちしております。



コーヒー・ウォーターサービスをはじめ、 様々な製品で癒しの空間に寄与します。

ダイオーズ(ブース:K-25)は、コーヒーサービスやウォーターサービスをメインに、マットやモップ、空気清浄機など環境衛生商品やグリーンレンタルサービスまで、様々な癒しの空間をご提案いたします。

テーマ:「都市開発・建設」



ゼロカーボン北海道に貢献できる 業界の革命的製品をぜひご覧ください！

エス・エー・エス・シー・ジャパン(ブース:T-25)は、100%リサイクルプラスチックでできた敷板「Magic Mat」を展示します。従来の1t近くある敷鉄板に比べ、約40kgの軽さで設置も簡単にできます。重機を使う必要がないため、無駄な燃料も使うことはありません。

BIZREACH

即戦力人材へ「直接」アプローチする中途採用サービス
ビズリーチ(ブース:T-29)は、厳選された即戦力人材にスカウトを送って直接アプローチできる中途採用サービスです。全国159万人以上から経歴や資格などさまざまな条件で採用したい人材を「直接」探すことができます。さらに、ご契約いただいている企業向けの無料セミナーも開催しており、採用成功に向けた実践的なノウハウをご提供します。

テーマ:「災害対策」



次世代電気自動車の電欠を救う車両

北海道電気相互（ブース:屋外-3）では道内初！！次世代電気自動車(EV 車)の電欠を救う給電車を展示します。緊急時などに駆けつけて給電が可能。短時間で最大90%まで充電可能。次世代電気自動車の電欠を救います！



GI コラム工法が施工の効率化に寄与します。

GI コラム研究会(ブース:S-10)は小型施工機でありながら大型施工機と同等の改良径、改良深度が可能な工法であり、小型機の特長である機動力、施工能力、組立・解体費、輸送費の低減などによるGIコラムの「施工性」「安全性」「経済性」「工期短縮」について紹介します。軟弱地盤から硬質層が介在する地盤での施工についての説明、またICT地盤改良工へのトータル的な対応についても紹介します。

取材申請について

取材にあたってはプレス登録が必要です。円滑な入場手続きのため、事前のプレス登録へのご協力をお願いします。

※プレス登録いただいた方には、「プレスバッジ」「会場案内図」「取材に際してのお願い」をお渡しします。

事前登録:「取材お申込みフォーム」からご登録ください。 <https://www.jma.or.jp/press/>
『事前登録いただいた際の返信メール』のプリントアウトとお名刺 2 枚をご用意の上、「プレス受付(登録所内)」にお越しください。

※プレス登録は、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、Web 媒体などの取材／編集／報道に関わる方が対象です。報道機関の広告・営業部門、広告代理店、マーケティングリサーチ会社の方はご遠慮いただいております(上記の方は、一般登録でご入場いただけます)。ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

◆講演・セミナーをご取材される際のお願い

取材される場合は、対象者の了解のもと行ってください。

講演に使用された投影パワーポイント、配布資料およびテキストなどの無断転載は固くお断りいたします。講演内容を掲載する場合は、必ず講演者に許可を得てください。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

【展示会に関するお問い合わせ先】

NEXT150 北海道プロジェクト事務局 担当:坂本
一般社団法人日本能率協会 産業振興センター TEL: 03-3434-3453
〒105-8522 東京都港区芝公園 3-1-22

【報道関係の方のお問い合わせ先】

一般社団法人日本能率協会 広報・マーケティング室 担当:綿貫
〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22
TEL:03-3434-8620または090-6510-9161 E-mail:jmapr@jma.or.jp